

うらしまばし  
浦島橋

[概要]

本橋梁は、一級河川矢部川に架かる橋であり、旧橋は昭和31年に架設され60年以上経過し、橋の損傷や老朽化が著しい状態であった。さらに、車道幅員が狭く、前後の区間に歩道がないなどの交通安全上の課題もあった。そのため安全性・耐震性の向上を図る事を目的とし計画された新設橋梁である。

用地の制限により十分な作業ヤードが取れないことから3主箱桁橋中央のG2桁を先行で送り出し、G2桁上を利用し両側のG1桁及びG3桁を横取りする工法により架設を行った。今回の完成により、より安全な橋へと生まれ変わるだけでなく、橋を利用する車両や歩行者、並びに自転車利用者に対して安全で快適な道路空間となっている。

発注者：国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所 殿

工事名：福岡208号浦島橋上部工工事

引渡場所：福岡県みやま市高田町地先～

福岡県柳川市大和町中島地先



竣工写真

[仕様]

橋 長：160.000 m

幅 員：17.500 m

鋼 重：1222.404 t

鋼 種：SS400, SM400, SM490Y

橋梁形式：鋼3径間連続鋼床版箱桁橋

架設工法：送り出し及び横取り工法

[特記]

・受注形態：名村・日塔 JV

本橋梁の施工報告は本誌50頁「浦島橋上部工工事の施工報告」に掲載しております。

いまりこうりんこうどうろ  
伊万里港臨港道路 (A1-P2)

[概要]

七ツ島地区では、幹線道路と接続する臨港道路が1ルートしかないため、交通渋滞が発生し、伊万里港を利用する関係企業の貨物輸送等に支障が生じている。このため、取扱貨物の輸送効率の向上、定時制の確保が図られることにより、国際競争力の強化・向上、交通渋滞解消を目的に臨港道路が計画されている。

本橋梁は、塩害対策としてAl-Mg溶射が採用されており耐食性に優れた橋梁となっている。外観については合成床版を採用することで細幅箱桁が可能となり、スリムな形状を可能にしている。

発注者：国土交通省 九州地方整備局 唐津港湾事務所 殿

工事名：伊万里港（七ツ島地区）道路（橋梁上部工）工事

引渡場所：佐賀県伊万里市黒川町塩屋地先

[仕様]

橋 長：108.000 m

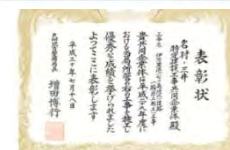
幅 員：13.350 m

鋼 重：372.000 t

鋼 種：SM570, SM490Y, SM400

橋梁形式：鋼2径間連続非合成細幅箱桁橋

架設工法：クローラクレーン架設工法



竣工写真

[特記]

・平成30年度九州地方整備局国土交通行政功労者表彰において

九州地方整備局長表彰（優良施工業者）

唐津港湾事務所長表彰（優秀現場代理人）を受賞

・受注形態：名村・三井 JV

本橋梁については本誌44頁「伊万里港臨港道路の橋梁概要及び防食性向上対策」に掲載しております。